

保育新制度ってな〜に？

NPO法人さやま保育
サポートの会 代表 諏訪きぬ

子ども・子育て支援法が来年4月から施行されるにあたって、保育制度が大きく変わります。狭山市にあるいくつかの幼稚園が、幼保連携型認定こども園に移行するとかしないとか、噂になっているのもその一つの現れです。幼保連携型認定こども園は、従来の認定こども園とも異なって、「教育・保育要領」に基づいて、運営されます。先生の名称も「幼稚園教諭」「保育士」ではなく、二つの資格を併せ持った「保育教諭」となります。働く母親の子どもも、専業主婦の子どもも保育時間の長短で分けするだけで、3歳以上児は同一のカリキュラムの下に指導されます。また子どもをもつ家庭はすべて、新保育制度に向けて、保育認定を受ける必要が生じます。「給付制度」、「支給認定制度」の導入により第1号（3歳以上幼稚園型）・第2号・第3号認定を受け、さらに保育園型の第2号・第3号認定の家庭は、必要保育時間の申請をします。現在幼稚園・保育園に通っている方も対象になりますから、ご注意ください！！

奥富プレイスは満7歳に！

つい先日迄、黄金色に輝いていた稲田も今はすっかり収穫を終え、刈田が広がっています。曼珠沙華もきれいでしたね。春、富士山にまだ雪が残る頃、田んぼの水入れ、田植え、刈り入れ・・・と、律儀に一連の作業が進むのを楽しみに見守ってきました。作物は毎年季節を追って同じ事をくり返します。同じ繰り返しのようでも、子育ては違います。一年毎に大きくなり、一年毎に体にも心にも変化を生じて、子どもたちは“脱皮”をするかのように大きな変化を見せてくれます。このプレイスは10月6日満7歳になります。今まで大過なく過ごせたことに感謝しつつ、これからもプレイスに集う皆様の側に添っていたい、共に生きていたい・・・と思います。プレイスは皆さんと共に、たくさんの夢を見ながら8年目に入ります。スタッフ一同、気を引き締めて楽しい場づくりに努めてまいります。温かく見守り声援してくださいね！！

収穫の終わった奥富の田んぼ



文理大4年生、最後の実習は子育て広場を選びました。



幼稚園見学&お母さんの発表

6月の「幼稚園のQ&A」の講座を皮切りに、暑い盛りの「幼稚園見学会」に入り、それも9月早々の「しいのみ幼稚園」「風の森みどり幼稚園」見学を経て、皆様からの見学申し込み園は全て終わりました。後は願書申請を待つのみです。



園側の説明を受けます。



ホールで遊びました。



9月24日(水)に、この流れを体験し入園させた卒所児のお母さん達を招いて「この園を選んだポイントは・・・？」という保育付き講座を開きました。どのお母さんも「自分が選んだ園が一番我が子にふさわしい・・・」と思っている理由を、堂々と語ってくれました。「後輩のお母さん達の役に立てれば・・・」という熱い思いを込めながら。双方のやり取りも活発で、よい会となりました。アンケートには感謝の弁がいっぱいでした。



発表者の意見を真剣に
聞くお母さん・・・☆



7名の方が発表と質問を受けてくださいました

